

のどに物が詰まったら（窒息）

子どもの窒息事故に気付いたら、すぐに救急車を要請しましょう。到着するまで応急処置を行ってください。おもちゃ、ナッツ類、ミニトマトなど、子どもがのどに詰まらせやすいものに気を付けましょう。



応急処置

の目安

- ☐ 突然咳き込んでゲーゲーする
- ☐ のどを押さえて苦しがる
- ☐ のどからヒューヒューと音がする
- ☐ 顔色がみるみる悪くなる

◆◆◆ 解説 ◆◆◆

- 意識があってもなくても、すぐに救急車を呼びましょう。
- 意識がない場合は、すぐに救急蘇生を行います。（P17、18「救急蘇生を行う時は」参照）
- 意識がある場合は、咳をさせて異物が出るか試します。出なければ①と②を交互に繰り返しましょう。



1歳未満



① 背部叩打法

腕または膝の上にうつぶせにし、頭を下げて背中の中を手の平で強くたたく。

② 腹部突き上げ法

①で除去できなければ、あおむけにし、胸骨圧迫の要領で4～5回圧迫する。（P18図2 胸骨圧迫を参照）



1歳以上



① 背部叩打法

手の付け根で両側の肩甲骨の間を4～5回たたく。

② 腹部突き上げ法

背後から両手で抱きかかえ、へその上を手前上側に圧迫するように突き上げる。

ハチに刺されたら

アシナガバチ、ミツバチ、スズメバチに刺されることがあります。刺された場所の発赤と腫脹^{しゅちやう}だけでなく心配ないのですが、全身にじんま疹^{じんましん}がでて呼吸が苦しくなる場合（アナフィラキシー）は重症です。以前にハチに刺されて、ハチの毒に対してアレルギーがある人は、アドレナリン自己注射薬（医療機関で処方が必要）をいつも携帯することが必要です。



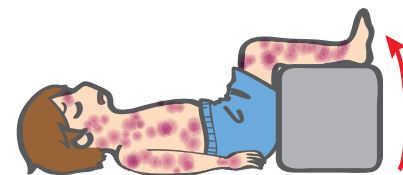
急いで受診

の目安

- ☐ 全身にじんま疹がある
- ☐ 顔色が悪い
- ☐ 呼吸があらく苦しそう

◆◆◆ 解説 ◆◆◆

- 上記のような症状があるときは、アナフィラキシーの可能性が高いので、すぐに救急車を呼びましょう。体を横にして足を上げて安静にし救急車を待ってください。自己注射薬を持っている方はすぐ使しましょう。
- 家に対応する場合、毒針が残っている時は、毛抜きなどで取り除きます。赤みや腫れが強くなるようであれば医療機関を受診してください。
- ハチ刺されは、2回目以降に症状が強くでるアナフィラキシー反応を起こす場合があるので注意が必要です。



- アナフィラキシーが疑われるときは、静かに寝かせて足をあげ、救急車を待ちましょう。
- アナフィラキシーでは全身の血管の緊張がゆるみ、全身から心臓にかえってくる血液の量が少なくなります。
- 体を起こしたり、自分で歩かせたりしてはいけません。脳に流れる血液（酸素）が少なくなって、意識を失うことがあります。

やけどをしたら

やけどの多くは熱湯によるものです。軽症の場合が多いのですが、やけどの範囲や場所、やけどの深さで重症度が違います。コンセントの延長コードを口の中に入れて電気的なやけどをおこすこともあります。



急いで受診

の目安

- ☐ やけどの部分对白もしくは黒くなっている（深いやけど）
- ☐ 水ぶくれができていて、範囲が子どもの手のひら以上の広さがある
- ☐ 顔や性器のやけど

◆◆◆ 解説 ◆◆◆

- 受診する前に、水道水を流しっぱなしにして15分程度冷やしてください。できれば服を脱がせて、赤くなっている部分を冷やしましょう。水ぶくれは破らないように注意しましょう。
- バーベキューの炎や油によるやけどで、深いやけどになると皮膚が白もしくは黒くなることがあります。すぐに受診してください。
- やけどが広範囲の場合は冷やすと低体温になりますので、清潔なシーツでおおってから毛布をかけ保温して救急車を呼びましょう。
- 顔や性器のやけどは、程度が軽そうに見えても、その後悪くなることがあるので医療機関を受診しましょう。
- ホットカーペット、あんか、カイロなどでは「低温やけど」（症状が見た目にはわかりにくかったり、痛みを感じにくいことがあるので、軽症と勘違いしてしまいがちです。）を起こすことがあるので注意が必要です。



やけどをしたら